

# 有本揚排水機場の内水対策

有本揚排水機場では、毎秒20m<sup>3</sup>を自然排水でき、紀の川の水位が高く自然に排水できない場合は、ポンプにより毎秒4m<sup>3</sup>の排水ができます。



# 有本地区の浸水実績



洪水名	要因	総雨量	床下浸水
平成元年9月3日	大雨	316mm	326戸
平成5年8月22日	大雨	—	22戸
平成7年7月4日	大雨	262mm	100戸
平成12年9月11日	台風14号	426mm	18戸

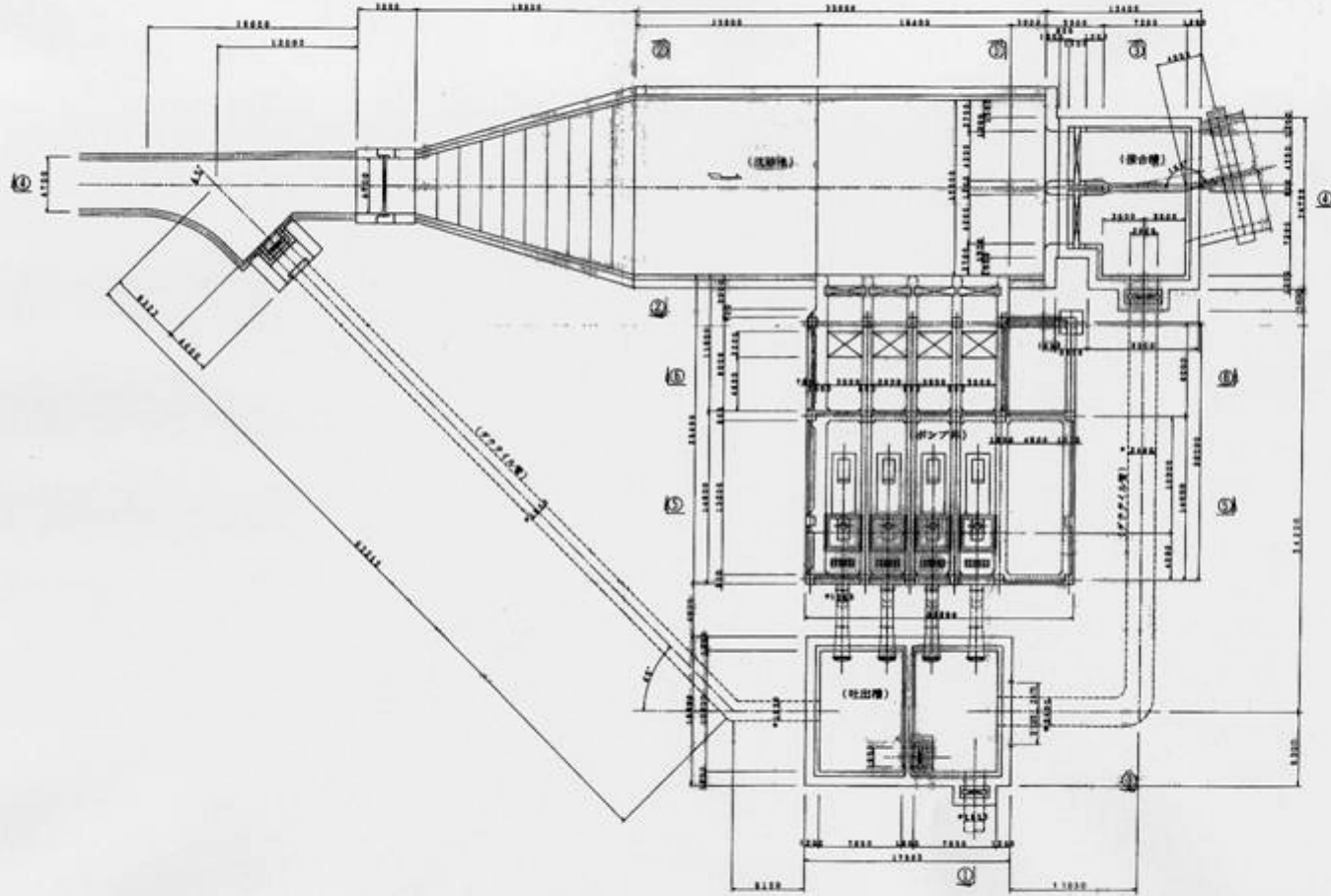
↑ 既往洪水での浸水被害(総雨量: 気象庁和歌山雨量観測所の値)

平成12年9月11日からの降雨が過去30年間で最大でしたが、和歌山市災害対策本部調べによれば、四箇郷地区で床下浸水が18戸でした。

過去の浸水に比べ浸水家屋数が少なかったのは、有本川の改修工事や有本揚排水機場の効果によるものです。

有木揚排水機場一般図 (た) 5-1/200

平面図



工 事 名	工 場
機 種 名	揚水一般図 (た) 5-1
図 尺	原寸 縮尺
図 尺 寸	400 200
近畿地方建設局	
和歌山工務事務所	
製 図 者	日本建設コンサルタント株式会社